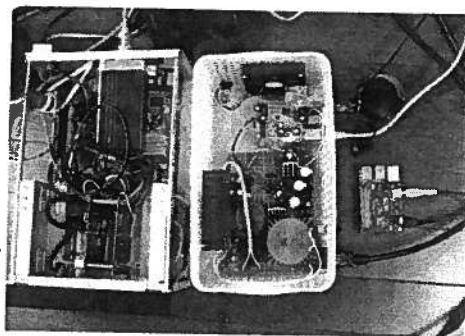


## Symphonic-MPD 比較

Symphonic-MPD(以下 SMPD)は volumio と同じ様な Raspberry Pi のディストリビューションの一つで高音質再生に特化したものです。

使用料は無料ですが、開発者の意向でオープンにされていないため download はユーザの紹介が必要です。



今回はこの SMPD を簡易型と対策型の2種類のハードで聞き比べてみたいと思います。(右上写真は左から共有 PC、対策型、簡易型、この他有線 LAN が基本なのでハブかルータが必要です)

### 1. 簡易型

本体 RaspberryPi3B  
 電源 AC パック電源  
 I/O Hifiberry Dig+Pro  
 ソースUSB メモリ  
 接続 SPDIF(同軸 orTOS)

### 2. 対策型

RaspberryPi3B  
 ノイズ対策リニア電源  
 Hifiberry DAC+Pro 相当 (RASDAC)  
 共有ファイル(PC)  
 HDMI(I2S)

Hifiberry Dig+Pro は正規品は 7,8 千円しますが、パチモンが安いです。水晶が 2 つ載っているの買ってください。直接アナログレベルが必要なら Hifiberry DAC+Pro でも OK です。この 2 種類が BCK クロックのマスターモードに対応していますので、お勧めです。

操作は volumio と同じ様な WebUI の ympd を使用します。主にホルダーからの選曲になります。CoverArt での選曲には IOS の yaMPC というアプリもあります(右写真)。



SMPD の特徴は高音質対応のための OS チューンにあり、色々な要素を削っているので、その分使い勝手は少し悪いです(基本は USB も使えません)。そのため当初には多少 SSH から Linux コマンドも必要になるかもしれませんが、動く様になってしまえば普段は WebUI で済みます。

その分音質的には volumio など満足できない場合でもというか、かなりの高レベルの再生音が得られると思います。

私もこれを聞いてその前の Foobar2000UPnP のデュアルモード(i7 の 2 台使い)をサッサと諦めて乗り換えました。奥行きと音場の広さ、解像度の高さが価格とは関係なく驚異的です。